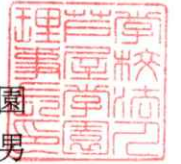


令和4年5月吉日

一般社団法人芦屋大学・短期大学同窓会
代表理事 会長 白石方一様

学校法人芦屋学園
理事長山田英男



回答書

平素は、本学に格別のご支援、ご厚誼を賜り、厚く御礼を申し上げます。
貴法人から提出された2022年3月10日付要望書(以下「本件要望書」といいます。)に対し、下記のとおり回答いたします。

記

本件要望書は概要、平成26年12月の要望書に回答いただけていないとして、①財務情報等の公表の要望②過去15年の総括及び今後10年の計画を問うものですので、以下回答いたします。

① 予算、決算を含めた財務情報につきましては、過去13年分を学校法人芦屋学園のHPで公表しておりますので、ご確認いただきますよう、お願い申し上げます。また、本年度の決算につきましては、例年通り、5月に決算承認を行い、後HPで公表いたします。

② 当法人は、学生数の減少に伴う人件費比率の増加を主たる原因とし、大変厳しい経営状況が続いた時期がございました。しかし、公開しております財務情報、事業報告書のとおり、令和元年度には教育活動資金収支差額の黒字化を達成し、令和2年度には教育活動収支も黒字化に至りました。経営改善の経緯については、毎年度の事業報告書のとおりですので、事業報告書をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

今後の展望につきましては、少子化のおり、財務状況を楽観視することはできませんが、今後も経営改善に努めて参る所存です。なお、今後の計画につきましては、事業報告書等で公開して参ります。

なお、本件要望書は、毎年度のキャッシュフローがネガティブである他、全く事実と異なる点が複数ございますので、上述の資料をご確認の上、速やかに訂正いただ

き、不当に当法人の信用を棄損されることのないよう、本書をもって申し入れる次第です。

本学といたしましては、引続き、芦屋大学創立者・福山重一先生が掲げられた建学の精神に基づく学園運営に尽力する所存でございます。引続きのご支援、ご厚誼を賜りますよう宜しくお願いいたします。

以 上